

Top Message

トップメッセージ



事業領域の拡大と効率化を追求し、
サステナビリティ経営を浸透させて
トピアグループの企業価値を
高めてまいります。

代表取締役社長
佐々木 英樹

失敗を恐れない挑戦こそが、未来を創造する

社会を取り巻く環境は、目まぐるしいスピードで変化し、私たち企業に求められる役割もまた、日々進化を遂げています。地球規模の課題から地域社会のニーズまで、持続可能な未来への貢献は、もはや企業活動の根幹を成すものだと、強く感じています。

変化を恐れず未来を切り拓く

世界情勢が大きく変動する中、現在の市場環境においては、物価高や急激な為替変動が大きな課題だと捉えています。輸出入の双方に絡むビジネスでは為替変動が一定程度相殺される側面もありますが、調達・製造・販売が国内で完結する事業においては収益への影響が大きく、厳しい状況が続いています。このような環境変化は今後も続くとしており、中長期的な視点で、私たちは果敢に対応策を講じていきます。

こうした環境下において、当社はこれまで主力であった自動車関連事業に加え、次世代の産業を支える精密機器分野、そしてドローンやAIといった先端技術を活用した社会課題解決分野への投資を積極的に進めてきました。これは、人手不足を

はじめとする日本の社会課題の解決に貢献できる分野に、私たちの技術と情熱を注ぎ込むとの考え方です。既存事業の基盤強化と新たな事業領域の拡大を推進することで、グループ全体の持続的な成長を実現していくことを目指しています。当社が2025年に三重県亀山市に新たに工場を増設したことも、こうした成長戦略の一環です。次世代に向け当社の競争力を一層強化し、将来を見据えた新たな価値創出につなげるための、重要な一歩だと確信しています。私たちはこれからも、変化を恐れず、未来を切り拓くための挑戦を続けていきます。

チャレンジ精神を核とした人財育成方針

当社では、未来を切り拓くのは「人」とであるという確固たる信念のもと、人財育成を最も重要な経営課題の一つと位置づけています。私たちは社員一人ひとりに、まず「何を達成したいのか」という具体的な目標を持つことを促しています。「何のために働き、どのような人生を歩みたいのか」を自ら考え抜くことこそが、自身の成長、そして働く喜びにつながると信じています。当社の経営理念の一つに、「チャレンジ精神」があります。たとえば、社員から新しいアイデアや挑戦の提案があった際、私は原則として「NO」とは言いません。まず、やってみる。

挑戦をすることが、私たちの風土そのものです。もし失敗したとしても、やり方を変えればいい。大切なのは、一步を踏み出すこと、そこから学びを得ることです。挑戦を後押しすることが、若い社員の新たな発想を育み、人として、組織として、そして会社として強くなる原動力になっています。私自身、中国の工場設立時には、財務面や市場面でのリスクを理由に多くの反対意見がありましたが、将来を見据えて挑戦を決断しました。こうした挑戦を後押しする風土は、当社の経営理念を基盤として、半世紀を超えて受け継がれています。社員一人ひとりが主体的に挑戦し、成長できる環境を提供することで、これからも「人」の力を最大限に引き出し、未来を創造していきます。

持続可能な未来の実現に向けて

持続可能な社会の実現は、社会的な責任であると同時に、新たな価値創造の大きな機会でもあります。

当社は、この認識のもと、ESGの各側面を重視し、「私たちができることを着実に、そして誠実に積み重ねる」という姿勢でサステナビリティ経営を推進しています。

環境面では、資源の有効活用と廃棄物の削減を基本方針とし、常日頃より、無駄をなくす考え方を大切にしています。

社会面では、価値観を共有できるパートナー企業の皆様との協業を重視し、互いに成長できる関係づくりに力を入れています。

ガバナンス面では、持続可能な企業として社会からの信頼に応えるため、内部統制の強化にも力を入れています。当社グループの10年後の姿として、私たちの製品を全世界に供給し、社会の発展に貢献している姿を思い描いています。その実現に向けて、当社はすべての活動の根幹にあるパーパス、「豊かな未来の実現に向けて 変化・要求に挑戦し続けます」を胸に、若い世代やこれから仲間となる皆さんとともに、人と地球の未来に貢献できるモノづくりへの挑戦を続けてまいります。

